

# 八学大 初戦で姿消す

## 走塁妨害まさかの逆転サヨナラ

全日本大学野球

### 本塁好返球も判定覆らず

最終回 4失点

予想だにしない幕切れ。前打を浴びたが、三塁を  
とった。八戸学院大は 回ったサヨナラの走者を  
3点リードで迎えた九回 中堅手が本塁に好返球  
の守備で、投手陣が崩れ してアウトに仕留めた、  
て1点差まで迫られ はずだった。しかし判定  
おもて死満塁。さらに中 は捕手による走塁妨害。

正村監督が球審に確認し  
たが判定は覆らなかつ  
た。  
九回、それまで無失点  
に抑えていた先発大道の  
制球が乱れた。満塁のピ

ンチで2番手申道が登板  
したが、適時打と押し出  
し四球で悪い流れを断ち  
切れない。「投手交代が  
遅すぎた。私のミス」と  
正村監督は悔しがった。  
サヨナラの場面は好返  
球を受けた捕手山本が、  
きわどいタイミングなが  
らタッチアウトで走者の  
生還を防いだかと思われ  
た。試合後、審判部の責  
任者が報道陣の取材に応  
じ、「セーフになる走者  
の本塁到達を捕手が妨げ  
た、故意でなくても明ら  
かにふざいだと球審が判  
断した」と説明。「なか  
なか最近では見なかった  
ケース」とも述べた。  
手中に収めかけていた  
勝利を思わぬ形でこぼし  
たが、主砲・武岡大聖が  
2打席連続で本塁打を放  
つなど収穫もあった。弟  
は八学光星高の主将でブ  
ロ注目の武岡龍世。「パ  
ワーは弟に負けない。プ  
ロが採ってくれる選手に  
なれるように『打』を極  
めた」と語った。  
(佐々木大輔)